

～ 秋のダイナミックワールド ～  
青の3組(年長児)で展開されている遊び

万里の長城 すごろくゲーム

万里の長城を身近な素材(給食の牛乳が入っていた四角い段ボール箱)でつくっていたことがきっかけで生まれた遊び。

1学期、クラスの友達と協力して「中国」について調べ、他クラスの友だちに、中国にある万里の長城のことを伝えたいと、クイズにしたり、粘土や絵、工作などで万里の長城を表現したりしてきた子どもたち。四角い段ボール箱を長くつなげて万里の長城をつくり、入口をつくったり、看板をつくったりしていくうちに、「何かの遊びに使えたら楽しいね」という意見が出てきました。話し合いの結果、迷路、線路、人生ゲームなどの意見から、みんなが遊んだことのある遊び、すごろくに決定しました。「3つ進む」「先生に会いに行く!」など、マスごとのきまりも自分たちで考えたり、「すごろくにはコマが必要だね」「だれのコマかわかるように色を変えたらいいんじゃない」「自分を描いたらいいよ」と自分用のコマもつくったりしていききました。毎回、ルートを変形させたり、どのマスでどう進むのが自由に組みかえたりしながら遊んでいます。



小びとのドールハウスづくり

万里の長城をつくるときに使っていた身近な素材(給食の牛乳が入っていた四角い段ボール箱)にカラフルな模様を描いていたことから生まれた遊び。

万里の長城づくりで使っていた身近な素材(牛乳が入っていた四角い段ボール箱)をもっとかわいくしたいと、マークを描いていた子どもたち。窓や扉、ドアを描いたことをきっかけに、「おうちみたい」と部屋にあるもの(机や椅子、冷蔵庫、ハンガーにかかった洋服など)が描き込まれていきました。かわいい小さなドールハウスの出来上がり。「小びとさんが住んでいそうだね」「かわいいお部屋だから喜ぶね」と、オペレッタ『くつやと小びと』の世界をイメージしながら遊び始めました。絵本を読んだり、歌をうたったりする中で、「小びとさんはベッドで寝るのかな」「電気スタンドもあったらいいね」などと、寝具や電気、お風呂なども身近な素材で立体的につくっています。かわいいミニチュアの家具や生活道具をつくっていくうちに、「中に入れたらいいのに」「おうちの中に入ってみたいね」という声も上がり、大きな段ボールをおうちに見立てた、子どもたちでも中に入られる大きなおうちも製作中です。



大型トンネルづくり

万里の長城をつなげて長くしていくうちに、自分たちも通れるような大きい道をつくりたいという願いから生まれた遊び。

大きな段ボールをつなげて、トンネルづくりから始まりました。はじめは、通り抜けているだけでしたが、進行方向を決めたり、非常口をつくったりしていきました。トンネルを通っていく時に、「電気がついたらきれい」と、タッチライトをつけたり、お化け屋敷にしたら楽しいのではないかと、折り紙でお化けを折って、飾り付けたりもしていきました。遊んでいる中で、どうしたらダンボールの中を人が通っても崩れないトンネルをつくれるのか、みんなで相談し合い、おもりになるものや柱になるものを用意するなど、試行錯誤を繰り返していった子どもたち。トンネルは、子どもたちのアイデアによって、日々改良されています。



国旗あてクイズ

「国旗カード(絵合わせ)」がお気に入りによく遊んでいたことから生まれた遊び。

多文化交流をきっかけに、世界にはいろいろな国があること、各国の旗の色やデザインにはそれぞれ意味が込められていることを知った子どもたち。運動会(YGKオリンピック)の時には、自分たちで国旗を描いたり、クラス旗のデザインをしたりしてきました。国名や国旗に詳しくなったことで、国旗カード(絵合わせ)がさらに得意になってきました。「みんなで遊べるようにしましょう」「もっと大きいのをつくろう」と、オリジナルの大きな国旗カードをつくることになりました。「赤いまるは 太陽をあらわします。"ひのまる"ともいわれています」などと、読み札を互いに読み合って、今までに得てきた国や国旗に関する知識もいかしながら遊んでいます。



糸電話づくり

ある子がラップの芯をメガホンに見立て、友達と会話をしていたことがきっかけで生まれた遊び。

ラップの芯の先をお友だちの耳にあて、もう片方の穴から大きな声で話をする、お友だちの耳がいたくなくなってしまうことに気がついた子どもたち。そんな中、ある子が「糸電話って知ってる?この前おうちでつくったんだよ」と紙コップと毛糸を使った電話をつくり出しました。「やってみよう!」「本当に聞こえる!」と、糸電話ごっこが始まりました。みんなでつくっている「大きいおうち」の中にいる友だちに伝えたいことがある時にも使われるようになりました。「もっと糸を細くしてみよう」「短くしてみる?」などと、どうしたらお互いの声が聞こえやすくなるのかを、友達と一緒に試しています。糸の種類やたるみによって、聞こえ方が異なることを発見し、その違いを友達に伝える姿も見られました。他にも音を伝える素材があることを知って試してほしいと願い、様々な素材を用意しておく、風船でも声が伝わることを発見し驚いていた子どもたち。いろいろと試しながら遊んでいます。

